

柏原市立歴史資料館等運営協議会

資 料

日 時 令和3年7月21日(水)

午後2時～4時

場 所 柏原市立歴史資料館研修室

目 次

1	令和2年度事業報告	
	(1) 歴史資料館関係	1
	(2) 横穴管理運営関係	10
2	令和3年度事業計画	
	(1) 歴史資料館関係	15
	(2) 横穴管理運営関係	20

資料

柏原市立歴史資料館等運営協議会委員名簿

事務局

教 育 長	新子 寿一
教 育 部 長	福島 潔
教育部次長兼文化財課長	寺川 款
文化財課長補佐	植田 佳邦
文化財課主幹兼歴史資料館館長（再任用）	安村 俊史
文化財課主査・歴史資料館学芸員	山根 航
歴史資料館学芸員	越智 勇介
文化財課係員	梅田 寛之
文化財課係員（再任用）	桑野 一幸
歴史資料館学芸員（会計年度任用職員）	石田 将大

1 令和2年度事業報告

(1) 歴史資料館関係

(ア) 【新型コロナウイルスによる臨時休館】

- a. 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、令和2年3月6日（金）から5月20日（水）まで臨時休館。
- b. 上記期間中の講演会、講座等をすべて中止もしくは延期。
- c. 令和2年12月から3年2月にかけての主な事業を中止。

(イ) 【常設展示】

- a. 民具の展示コーナーを3回展示替え。
- b. 6月に速報展示のコーナーを「玉手山1号墳」から日本遺産認定を受けた「葛城修験」に展示替え。
- c. 7月に近世の展示コーナーを「大和川の付け替え」から「柏元家文書の世界」に展示替え。『柏元家文書目録Ⅳ』の刊行に伴う展示替えである。
- d. 8月に写真展示コーナーを「田中幸太郎の写した柏原」から日本遺産認定を受けた「龍田古道」に展示替え。
- e. 9月に特集展示を「大阪万博から50年」から「大和川つけかえと中甚兵衛」に展示替え。
- f. 10月に写真展示コーナー「龍田古道」を一部展示替え。
- g. 速報展示コーナーを「葛城修験」から「大県誕生1,300年」に展示替え。養老4年(720)11月27日に、堅下郡と堅上郡を合併して大縣郡としたという『続日本紀』の記事に伴う展示。
- h. 12月に特集展示を「大和川つけかえと中甚兵衛」から「悪鬼退散！古代のまじない」に展示替え。近世コーナーは、大和川付け替えに展示替え。
- i. そのほか、企画展、資料貸し出し等に伴って展示資料を入れ替え。

(ウ) 【企画展】

- a. 「龍田古道ーあの山を越えればー」（令和元年度事業）
令和2年5月21日～8月23日（当初予定3月28日～6月14日）
新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館により、令和2年度夏季企画展を中止し、夏季企画展終了予定日の8月23日まで会期を延長。
観覧者数1,230名（個人1,177名、団体53名）
- b. 「大和川のつけかえー求める人と反対する人ー」
令和2年9月8日～12月6日
観覧者数5,214名（個人2,219名、団体2,995名）

見学小学校 40 校、2,802 名（元年度 91 校、7,094 名）

c. 「ちよつと昔の道具たちーモノをはかるー」

令和3年1月5日～3月7日

観覧者数 1,042 名（個人 953 名、団体 89 名）

見学小学校 0 校、0 名（元年度 7 校、368 名）

d. 「世界かんがい施設遺産 長瀬川と玉串川」

令和3年3月27日～4月24日（当初予定6月13日まで）

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う臨時休館のため。

観覧者数 521 名（個人 521 名、団体 0 名）

(エ) 【特集展示】

a. 「大阪万博から 50 年」

令和2年2月4日～9月6日（臨時休館に伴い会期延長）

b. 「大和川つけかえと中甚兵衛」

令和2年9月8日～12月20日

c. 「悪鬼退散！古代のまじない」

令和2年12月22日～令和3年4月18日

(オ) 【スポット展示】

「こんなモノをいただきました」をテーマに2ヶ月ごとに展示替え。9～10月の展示は博物館実習生による展示。

a. 御殿雛、雛道具（寄贈 1993-3）

令和2年3～4月

b. もっこ、銭箱（寄贈 2012-5・6）

令和2年5～6月

c. 船橋遺跡の土器、市指定文化財「船橋遺跡出土縄文絵画土器」（寄贈 2012-8）

令和2年7～8月

d. 酒造りの道具（寄贈 2012-13）

令和2年9～10月

e. 看板（寄贈 2013-1）

令和2年11～12月

f. 化粧まわし・明荷（2013-2）、相撲協会給金帳・感謝状（1994-18）

令和3年1～2月

g. 御殿雛、雛道具（寄贈 1993-3、2021-1）

令和3年3～4月

(カ)【出張展示】

- a. 令和2年9月17日から10月11日まで、柏原市市民歴史クラブ、大阪府立中央図書館との共催事業として、府立中央図書館にて出張展示「龍田古道ーあの山を越えればー」を開催。中央図書館1階展示コーナーにて、龍田古道ジオラマ、輿模型、河内大橋部分復元模型とパネルによる展示を実施した。

(キ)【文化財講演会】 定員 70名、参加費 200円

- a. 令和2年7月11日(土)
「龍田古道の歴史」
講師 安村俊史(当館館長)
聴講者数 62名
- b. 令和2年8月22日(土) 当日朝より整理券配布・先着順
「龍田大社の信仰と龍田古道」
講師 大塚慎也氏(三郷町教育委員会)
「万葉集と龍田古道」
講師 井上さやか氏(奈良県立万葉歴史館)
聴講者数 76名

(ク)【市民歴史大学】 定員 70名、参加費 200円

年間テーマ「古道をゆく」(文化財講座例会と兼ねる。)

- a. 令和2年8月9日(日) 当日朝より整理券配布・先着順
「日本古代国家と道」
講師 市 大樹氏(大阪大学教授)
聴講者数 82名

※第2回・坂本嘉和氏(鳥取県埋蔵文化財センター)「最新の発掘調査が語る古代山陰道」、第3回・村田右富実氏(関西大学教授)「万葉の龍田を読みひらく」は新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

(ケ)【体験教室】

※令和2年12月6日(日)「しめなわを作ろう」、令和3年2月7日(日)「わらざるりを作ろう」は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

(コ)【文化財講座】

年間11回の予定だったが、実際には6回の開催となった。

受講者数 54名(定員60名)、受講料 年間2,000円、担当 山根
年間テーマ「古道をゆく」(当初予定は「『日本書紀』と柏原」)

- a. 令和2年6月13日 ※5月9日から延期
「日本書紀を知る」(講義・山根)
- b. 令和2年7月25日
「龍田古道の歴史」(講義・安村)
- c. 令和2年8月9日
市民歴史大学「日本古代国家と道」市 大樹氏
- d. 令和2年9月12日
「日本書紀と柏原」(講義・山根)
- e. 令和2年11月14日 ※10月10日から延期
見学会その1ー龍田古道をめぐる(三郷町・柏原市内)
- f. 令和2年12月12日 ※令和3年1月9日、2月13日へ延期したが、中止
見学会その2ー太子道と龍田古道をめぐる(斑鳩町内)
- g. 令和3年1月30日 ※中止
市民歴史大学「最新の発掘調査が語る古代山陰道」坂本嘉和氏
- h. 令和3年2月27日 ※中止
市民歴史大学「万葉の龍田を読みひらく」村田右富実氏
- i. 令和3年3月13日
「まとめ」(講義・山根)

(サ)【古文書講座】 定員25名、受講料 年間1,000円、担当・三原、
年間10回の予定だったが、8回の開催となった。

- a. 初級編 年間8回 受講者数 24名(定員25名)
『河内鑑名所記』を読む。
- b. 中級編 年間8回 受講者数 18名(定員25名)
三田家文書をなど読む。

(シ)【館長と学ぶ大和川講座】 定員70名、参加費200円、担当・安村
a. 令和2年6月27日 「大和川の歴史を語る」 聴講者数 58名
※令和2年2～5月の講座がすべて中止・延期となり、6月の講座で終了。

(ス)【館長と学ぶ河内の古道講座】 定員70名、参加費 200円、担当・安村

- a. 令和2年9月26日 「古代の道を求めて」 聴講者数 64名
- b. 令和2年10月31日 「古代の直線道」 聴講者数 57名
- c. 令和2年11月28日 「飛鳥時代の洪河道」 聴講者数 61名
- d. 令和3年3月27日 「飛鳥時代の龍田古道」 聴講者数 69名

※令和2年12月～令和3年2月の講座は順延。

(セ)【博物館実習】

a. 令和2年8月18日～23日 6日間

京都芸術大学1名、近畿大学5名 計6名

内容 館内施設の説明と見学、考古資料の扱い、民俗資料の整理、文書史料の整理、写真の撮影、スポット展示の実施

(ソ)【職業体験】

※新型コロナウイルス感染防止のため中止。

(タ)【大学との連携】

a. 令和2年7月4日

大阪教育大学グローバルセンター 留学生20名に「柏原の歴史」講義、史跡高井田横穴公園・歴史資料館の案内。

b. 令和2年10月26日～30日 5日間

大阪教育大学の教育協働学科の学生が、学校教育との関わりを実習する教育コラボレーション演習で学生6名を受け入れ。来館小学校の大和川付け替え学習に対応。26日に研修。27～30日に見学小学生への解説や引率。付け替え学習に対する新しい提案を課題とする。

(チ)【資料調査・整理】

a. 今町・三田家文書の調査・整理。寄託史料仮目録作成、返却。新たな史料を受け入れ、整理を継続。

b. 大阪市平野区・末吉康三郎家文書の調査。史料の寄託を受け、調査・整理終了。平成30年度に『末吉康三郎家文書目録』刊行。所有者の意向で、史料は大阪市史編纂所に寄贈されることになり、当館がその仲介を行った。

c. 玉手・安福寺所蔵文書の整理。寄託史料仮目録作成、返却。

d. 大県・山崎家文書の整理。寄託史料仮目録作成、返却。新たな史料を受け入れ、整理を継続。

e. 本郷・柏元家文書未整理分の史料調査・整理。『柏元家文書目録Ⅳ』（柏原市古文書調査報告第15集）を7月に刊行。柏元家からこれまでに預かった史料については、すべて調査・整理を終了した。

f. マイクロフィルム撮影事業。平成19年度から実施し、令和2年度は1,600カットの撮影。柏原市古文書調査報告5『柏元家文書目録Ⅲ』の撮影を実施。

- (ツ) 【所蔵・保管資料の貸し出し】 計 8 件
- a. 国立歴史民俗博物館
常設展示
令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
大県遺跡：鞆羽口 2 点・鉄滓 2 点・砥石 2 点 計 6 点
- b. 大阪府立近つ飛鳥博物館
常設展示
令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日
大県遺跡：鉄滓 6 点・鞆羽口 7 点・砥石 2 点 計 15 点
- c. 大阪府立狭山池博物館
特別展「発掘された土木技術―大和川流域の開発と水制―」に展示
令和 2 年 9 月 15 日～12 月 16 日
大和川普請所絵図写 3 点、字一本松御国役御普請出来立絵図 1 点、国分村周辺絵図 1 点（以上南西尾家文書）、柏原船模型 1 点 計 6 点
- d. 柏原市立国分小学校
展示
令和 2 年 10 月 7 日～10 月 14 日
河内木綿 計 2 点
- e. 葛城市歴史博物館
特別展「飯豊皇女と忍海」に展示
令和 2 年 10 月 19 日～12 月 19 日
高井田山古墳：熨斗 1 点、神人龍虎画像鏡 1 点、金製耳環 2 点、玉類 5 連、須恵器 7 点（以上市指定文化財）、大県遺跡：鞆羽口 9 点、鉄滓 6 点、砥石 9 点、韓式系土器 2 点 計 359 点
- f. 柏原市立柏原東小学校
小学 3 年生の国語科・社会科・総合的な学習で使用
令和 2 年 11 月 8 日～11 月 22 日
足踏み脱穀機、石臼 計 2 点
- g. 奈良国立博物館・東京国立博物館
特別展「聖徳太子と法隆寺」に展示
令和 2 年 1 月 14 日～令和 2 年 9 月 30 日
安福寺所蔵夾紵棺（寄託資料、市指定文化財） 1 点
- h. 柏原市立玉手小学校
児童の学習のため
令和 3 年 1 月 22 日～2 月 12 日
糸車 1 点、綿繰機 2 点 計 3 点

- (テ) 【所蔵・保管資料の撮影・写真貸出等】 計 23 件
- a. ㈱イーハトーヴ
東大阪市立児童文化スポーツセンターで上映のプラネタリウム番組『中甚兵衛物語』
に使用。
写真提供：中家文書の写真 11 点
- b. 学校法人河合塾
2020 年度夏季講習（高 3・高卒生対象）「関関同立大日本史」に掲載。
写真転載：茶臼塚古墳出土円筒埴輪 1 点
- c. 個人
『三角縁神獣鏡と古墳時代の社会』に掲載。
図掲載：茶臼塚古墳出土仿製三角縁神獣鏡断面図 1 点
- d. ㈱新泉社
『森浩一の古代学をつなぐ』に掲載。
図転載：『鍛冶の郷－大県と田辺－』掲載の精錬鍛冶と鍛錬鍛冶の図 1 点
- e. ㈱ベネッセコーポレーション
中学生向け通信教材に掲載
写真提供：安堂遺跡出土木簡 1 表面・裏面 2 点
- f. ㈱集英社
『学習まんが 日本の歴史（ポータブル版） 1 巻』に掲載。
写真転載：茶臼塚古墳出土車輪石 1 点
- g. ㈱せんしゅう
コミュニティ紙「せんしゅうプレス」に掲載。
写真提供：亀の瀬 1 点
- h. 大阪府立狭山池博物館
ボランティア企画展「河内平野の水風景」パネルに掲載。
写真提供：貞享四年付替嘆願書、堤切所之覚付箋図、中甚兵衛肖像画、川違新川図
(以上中家文書) 計 4 点
- i. 平野警察署
署員防災教養資料として活用。
図提供：付け替え工事の分担、付け替え後に開かれた新田、大和川周辺の高さ
写真提供：川違新川図（中家文書） 計 4 点
- j. 大阪府立狭山池博物館
特別展「発掘された土木技術－大和川流域の開発と水制－」展示図録に掲載。
写真提供：大和川普請所絵図写 3 点、字一本松御国役御普請出来立絵図、国分村周
辺絵図（南西尾家文書） 計 5 点

- k. 朝日新聞出版書籍編集部
『海から読み解く日本古代史』に掲載。
写真提供：高井田横穴第3支群5号横穴線刻壁画 1点
- l. (株)アークコミュニケーションズ
(株)昭文社発行『奈良のトリセツ』に掲載。
写真提供：復元された柏原船 1点
- m. 葛城市歴史博物館
特別展「飯豊皇女と忍海」に関わる印刷物、広報資料、展示パネルに掲載。
写真提供：高井田山古墳の横穴式石室、鏡・熨斗・耳環・ガラス玉出土状況、出土遺物集合、熨斗、神人龍虎画像鏡、耳環、ガラス玉5点、大県遺跡85-2次調査の鍛冶炉3、鍛冶関連遺物、土師器と韓式系土器 計15点
- n. NHK
テレビ番組『ガッテン』の放送で使用。
テレビ撮影：高井田山古墳出土熨斗・銅鏡 計2点
- o. 朝来市埋蔵文化財センター
特別展「接ぎ穂の王墓・城ノ山古墳とその時代」に伴うパネル展示・図録・広報活動に使用。
写真撮影：茶臼塚古墳出土石製品 1式
- p. 朝日新聞出版書籍編集部
『海から読み解く日本古代史』挿図として掲載。
写真転載：高井田横穴線刻壁画 1点
- q. (株)オフィスサンマルサン
(株)偕成者発行『しらべよう！47都道府県 郷土につくした先人 1巻 開発』に掲載。
写真提供：川違新川図（中家文書） 1点
- r. 堺市博物館
特別展「海を越えたつながりー倭の五王と東アジアー」に伴う図録、展示パネル、広報などに使用。
写真提供：茶臼塚古墳出土腕輪形石製品 1点
- s. みやま文庫
『鉄が語る群馬の古代史』に掲載。
写真転載：大県遺跡鍛冶炉3の写真 1点
- t. (株)新泉社
『装飾古墳ガイドブック』に掲載。
写真提供：安福寺割竹形石棺直弧文線刻の写真 1点

- u. 学校法人河合塾
2021 年度前期「日本史写真資料集」に掲載。
写真転載：茶臼塚古墳出土円筒埴輪 1 点
 - v. (株)ベースボール・マガジン社
日本相撲協会機関誌『相撲』3月号に掲載
写真提供：スポット展示「村相撲」展示風景 1 点
 - w. (株)ベネッセコーポレーション
教材に掲載。
写真提供：写真提安堂遺跡出土木簡 1 点
- (ト) 【所蔵・保管資料の調査・見学等】 計 16 件
- a. 個人
国分中学校西古墳出土埴輪
 - b. 個人
国分中学校西古墳出土埴輪
 - c. 大阪府立狭山池博物館学芸員
大和川普請所絵図写 3 点、字一本松御国役御普請出来立絵図、国分村周辺絵図（南西尾家文書）
 - d. 葛城市歴史博物館学芸員
高井田山古墳出土資料、大県遺跡出土資料
 - e. 個人
国分中学校旧蔵埴輪
 - f. 東京国立博物館・奈良国立博物館学芸員
安福寺所蔵夾紵棺
 - g. 個人
国分中学校旧蔵埴輪
 - h. 学生（京都大学）
茶臼塚古墳出土石製腕飾類
 - i. 朝来市埋蔵文化財センター学芸員
茶臼塚古墳出土腕輪形石製品
 - j. 学生（京都芸術大学）
注染の型紙
 - k. 学生（京都府立大学）
鳥坂寺跡出土軒瓦
 - l. 大阪府立近つ飛鳥博物館学芸員 2 名
田辺廃寺出土軒丸・軒平瓦、鳥坂寺跡出土墨書土器

- m. 太子町立竹内街道歴史資料館学芸員 2 名
安福寺所蔵夾紵棺
- n. 個人
高井田山古墳出土鉄釘
- o. 大阪府立近つ飛鳥博物館学芸員
高井田 4-42 号横穴出土須恵器、平尾山古墳群平野・大県 10-1 号墳出土須恵器・ミニチュア土器
- p. 京都国立博物館学芸員
大県遺跡・雁多尾畑 49 支群、高井田遺跡・安堂遺跡出土資料

(ナ) 【寄贈資料】	計 17 件
a. 大八車車輪 1 対 2 点、同軸棒	計 3 点
b. 足踏ミシン、裁縫道具一式、鎧櫃、鯉節削り、もろぶた (1 段)、もろぶた (3 段、蓋付)	計 7 点
c. 書籍	計 3 点
d. 竹製もっこ	計 2 点
e. 英文タイプライター	1 点
f. 医学書ほか一式、証書ほか一式、手紙・教科書ほか一式	計 3 箱
g. 万国博手帳	1 点
h. 搔卷	1 点
i. 電子オルガン (カバー付属)、ピアノ愛用のしおり、マッサージ機	計 3 点
j. 絵葉書	51 点
k. 『芸能画報』 19 点、『時事世界』 13 点、『歴史写真』 30 点	計 62 点
l. 歴史年表、従軍記章 3 点、勲章 3 点	計 7 点
m. 御殿雛、内裏雛一対、雛道具一式 一式	計 3 点
n. 「伊呂波引紋帳」	1 点
o. 一斗枡、搦り切り棒、一升枡、一合枡	計 4 点
p. 炭火アイロン	1 点
q. 戦時国債	計 5 点

(ニ) 【寄託資料】	計 4 件
a. 古文書	約 200 点
b. 安福寺所蔵夾紵棺 (柏原市指定有形文化財)	1 点
c. 古文書	約 700 点
d. 古文書	約 400 点

(ヌ) 【刊行物等】

- a. 柏原市古文書調査報告書第15集『河内国志紀郡柏原村柏元家文書目録Ⅳ』
56 ページ、図版4 ページ、令和2年7月発行、500 円
- b. 『柏原市立歴史資料館館報』第32号・2019年度
58 ページ、令和2年9月発行、500 円
- c. 『世界かんがい施設遺産 長瀬川と玉串川』
20 ページ、令和3年3月発行、300 円
- d. 『ゴンドラ』第17号
4 ページ、令和3年1月発行、無料
- e. ミュージアムグッズ・トートバック
松岳山古墳の墳丘測量図と楯円筒埴輪をアレンジ、500 円

(ネ) 【市民歴史クラブ】

資料館を拠点にクラブとして自主的に活動。令和2年度は、春季企画展「龍田古道」に伴い、龍田古道周辺のジオラマ、輿の模型などを製作し、展示した。

9～10月には、大阪府立中央図書館で、歴史資料館・府立中央図書館と共催の模型を中心とした「龍田古道」の出張展示を行った。龍田古道周辺のジオラマ、河内大橋の部分模型、河内国分寺七重塔復元模型などを作製して展示に参加。

秋から春季企画展「世界かんがい施設遺産 長瀬川と玉串川」に展示するため、長瀬川・玉串川流域のジオラマ、築留二番樋の模型、はねつるべの模型などを製作・展示した。

これ以外にも、横穴公開の解説等にもボランティアとして協力。

(ノ) 【日本遺産関連事業】

a. 龍田古道・亀の瀬

「もうすべらせない!!龍田古道の心臓部「亀の瀬」を越えていけ」

日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会、三郷町、柏原市企画調整課・産業振興課と連携しながら、柏原市新入職員研修・国土交通省大和川河川事務所の職員研修などの研修会や各所での講演会の講師、ボランティア養成講座などに協力。「月刊大和路 ならら」への連載、YouTube「タツカメ学園」の製作など。

b. 葛城修験

「葛城修験一里人とともに守り伝える修験道はじまりの地」
パンフレット作成などに協力。

(ハ) 利用状況

令和2年度歴史資料館利用状況（入館者数）

月	入館者数	開館日数	1日平均入館者数	土日祝日平均入館者数
4	0	0	0	0
5	184	10	18.4	20.8
6	632	25	25.3	41.5
7	650	27	24.1	38.4
8	660	27	24.4	34.0
9	887	27	32.9	49.2
10	1,589	27	58.9	50.7
11	2,616	26	100.6	43.3
12	527	24	22.0	25.0
1	307	25	12.3	9.9
2	547	24	22.8	37.4
3	767	26	29.5	46.1
合計	9,366	268	35.0	33.9

平成28～令和2年度・利用状況の変化

年度	入館者数	開館日数	1日平均入館者数	土日祝日平均入館者数
28	17,906	312	57.4	40.7
29	18,331	312	58.8	41.9
30	20,402	315	64.8	43.4
1	16,449	296	55.6	47.1
2	9,366	268	35.0	33.9

企画展別入館者数

「龍田古道」 1,230名（個人1,177名、3団体53名）

「大和川のつけかえ」5,214名（個人2,219名、48団体2,995名）

「ちょっと昔の道具たち」1,042名（個人953名、4団体89名）

「世界かんがい施設遺産 長瀬川と玉串川」521名（個人521名、団体0名）

(ヒ) 高井田文化教室「柏陽庵」利用状況

5人以上の一般の貸室と定期的なクラブ等の団体への貸室とに区別して有料で開放。茶道・華道・箏曲・俳句・川柳・短歌・詩吟・和裁・押し花・ビーズ工芸・将棋・学生のクラブなどの文化活動の場として利用を呼び掛け。

柏陽庵利用状況

令和2年4月～令和3年3月

月別	クラブ利用者	一般利用者	合計	月別	クラブ利用者	一般利用者	合計
4月	0	0	0	10月	74	0	74
5月	27	0	27	11月	69	10	79
6月	46	0	46	12月	60	90	150
7月	69	0	69	1月	50	0	50
8月	40	0	40	2月	69	100	169
9月	91	0	91	3月	51	0	51
				総計	646	200	846

(2) 横穴管理運営関係

(ア) 【史跡高井田横穴特別公開】

- a 春季 5月16日(土) 新型コロナウイルス感染拡大のため中止
- b 秋季 10月18日(土) 午前10時～午後3時 40名
 - ・ 船に乗る人物の線刻壁画のある第3支群5号横穴も公開。
 - ・ 市民歴史クラブが参加・協力。
 - ・ 雨天のため参加者が少なかった。

(イ) 【横穴公園等案内】

特別公開日以外でも、団体の横穴見学希望者には、可能な限り職員が鍵を開けて数基の横穴を案内。ただし、第3支群5号横穴は非公開。令和2年度から、新型コロナウイルス感染防止のため、一度の案内人数を30名までに制限している。

(ウ) 【維持管理】

- a 保存工事を実施した第3支群5号横穴の経過観察を定期的実施(毎月)。
目視、写真撮影、記録作成、他
- b 横穴公園内景観の維持管理。
枯木等の伐採、他
- c 平成30年9月の台風21号による倒木等多数発生。現在も一部で公開中止の箇所がある。

2 令和3年度事業計画

(1) 歴史資料館関係

(ア) 【臨時休館】

新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言発出のため、4月25日（日）から6月20日（日）まで臨時休館。

(イ) 【常設展示】

資料貸し出し等に伴い、少しずつ展示資料を入れ替え。

近世・民具の展示コーナーは、季節感等も考慮して資料を入れ替えながら展示。写真コーナーで日本遺産「葛城修験」のパネル展示予定。

(ウ) 【企画展示】

- a. 「世界かんがい施設遺産 長瀬川と玉串川」（令和2年度事業）

令和3年3月27日（土）～4月24日（日）

（6月13日までの予定であったが、臨時休館が延長されたため中止）

- b. 「日本書紀と柏原」

令和3年7月3日（土）～8月29日（日）

- c. 「つけかえ反対！－大和川つけかえに反対した人たち－」

令和3年9月14日（火）～12月5日（日）

松原市から反対史料を借用、大和川市民ネットワークの展示参加。

- d. 「ちょっと昔の道具たち」

令和4年1月4日（土）～3月6日（日）

- e. 「聖徳太子伝説～太子往来の道～」(仮題)

令和4年3月26日（土）～6月12日（日）

王寺町・三郷町と三市町合同の展示を計画。

(エ) 【特集展示】

- a. 「探究！高井田横穴群」 令和3年4月～7月

- b. 「船橋遺跡」（京都国立博物館相互貸借事業）令和3年7月～9月

京都国立博物館所蔵の船橋遺跡出土弥生土器を借用し、当館所蔵の大県遺跡出土鍛冶関連遺物、田辺古墓出土骨蔵器、平尾山古墳群出土和銅銀銭などを貸し出し。

貸借は令和4年3月までの予定で、特集展示後は一部資料を常設展示の予定。

- c. 「大和川つけかえ後」 令和3年9月～12月

- d. 「未定」 令和4年1月～3月

(オ) 【スポット展示】

「こんなモノをいただきました」

最近の寄贈資料を2か月ごとに展示替え。

(カ) 【出張展示】

a. 令和3年9月15日から10月10日まで、柏原市市民歴史クラブ、大阪府立中央図書館との共催事業として、府立中央図書館にて出張展示「世界かんがい施設遺産 長瀬川と玉串川」を開催。

(キ) 【文化財講演会】 参加料200円

a. 令和3年7月24日(土)

講師 安村俊史「『日本書紀』と柏原一雄略朝を中心に」

b. 令和3年7月31日(土)

講師 下鶴 隆氏(大阪府立登美丘高校)

「『日本書紀』のなりたち—その素材と構造—」

c. 令和3年9月23日(木)

講師 小松清生氏(大和川市民ネットワーク)

「大和川学習と市民活動～川を学び、川であそぼう～」

講師 安村俊史「大和川つけかえに反対した人たち」

d. 令和3年10月30日(土)

講師 西田敬之氏(松原市民ふるさとびあプラザ)

「反対地域から見た大和川付け替え」

(ク) 【市民歴史大学】 参加料200円

「日本書紀」をテーマに3回の講演会を開催(文化財講座例会を兼ねる)。

a. 令和3年8月15日(日)

講師 塚口義信氏(堺女子短期大学名誉学長・名誉教授)

「聖徳太子の虚像と実像—『隋書』にみえる「倭王」とは誰か」

b. 令和4年1月8日(土) 予定

講師 未定

c. 令和4年2月12日(土) 予定

講師 未定

(ケ) 【体験教室】

- a. 「しめなわを作ろう」定員 20 名
令和 3 年 12 月 5 日 (日)
- b. 「わらざうりを作ろう」定員 15 名
令和 4 年 2 月 6 日 (日)

(コ) 【文化財講座】

テーマ「日本書紀と柏原」

定員 60 名 受講者数 50 名

日 時 原則として毎月第 2 土曜日 年間 10 回の予定

受講料 年間 2,000 円

担 当 山根

令和 3 年

5 月 8 日、6 月 12 日 中止

7 月 10 日 「日本書紀とは」(講義 山根)

8 月 15 日 市民歴史大学 a

9 月 11 日 「柏原をめぐる古代氏族」(講義 越智)

10 月 9 日 「高井田山古墳ほか(柏原市)」(見学会)

11 月 13 日 「法隆寺ほか(斑鳩町)」(見学会)

12 月 11 日 「藤原京跡(橿原市)」(見学会)

令和 4 年

1 月 8 日 市民歴史大学 b

2 月 12 日 市民歴史大学 c

3 月 12 日 「まとめ」(講義・山根)

(サ) 【古文書入門講座】

a. 初級編

テーマ『河内鑑名所記』を読む

定 員 24 名 受講者数 24 名 受講料 年間 1,000 円

日 時 7 月から 3 月までの毎月第 1 土曜日午前 計 9 回

b. 中級編

テーマ「三田家文書などを読む」

定 員 24 名 受講者数 22 名 受講料 年間 1,000 円

日 時 7 月から 3 月までの毎月第 1 土曜日午後 計 9 回

担 当 越智

(シ) 【館長と学ぶ河内の古道講座】

古代の道について、館長とともに学び、考える講座。

定員 70名、申込不要、参加料 200円

日時 原則として毎月第4土曜日。

担当 安村

(ス) 【博物館実習】

令和3年8月24日(火)～29日(日)

6名の受け入れ予定(近畿大学ほか)

担当 山根

(セ) 【調査・整理】

a. 今町・三田家文書の調査・整理。目録刊行。

b. 大県・山崎家文書の調査・整理。

c. マイクロフィルム撮影事業。調査報告5『柏元家文書Ⅲ』の撮影。

(ソ) 【所蔵・保管資料の貸出等】

a. これまでと同様積極的に公開・活用を図っていく。市文化財保護条例の施行に伴い、市指定文化財については、通常の手続き以外に公開届が必要となっている。

b. 京都国立博物館と相互貸借事業を実施。令和4年3月まで。

c. 安福寺所蔵当館寄託の夾紵棺片(市指定文化財)を奈良国立博物館、東京国立博物館で開催の「聖徳太子と法隆寺」に出品。その後、太子町竹内街道歴史資料館に出品。令和4年3月から当館で展示予定。

(タ) 【寄贈・寄託】

広報等での呼びかけとともに、資料集の刊行やスポット展示などによって市民の関心を喚起し、寄贈・寄託資料の増加を図る。

(チ) 【予定刊行物】

a. 夏季企画展図録『日本書紀と柏原』 令和3年7月刊行予定

b. 『今町・三田家文書目録』Ⅰ 令和3年8月刊行予定

c. 『柏原市立歴史資料館館報』第33号 令和3年8月刊行予定

d. 『ゴンドラ』第18号 令和3年9月刊行予定

e. 春季企画展図録『聖徳太子と柏原』 令和4年3月刊行予定

f. 『柏原の歴史』1・旧石器時代～弥生時代 令和4年3月刊行予定

柏原の歴史のダイジェスト版。全5巻とし、毎年1冊ずつ刊行予定。

(ツ) 【市民歴史クラブ】

9～10月に府立中央図書館にて当館と共催で、「長瀬川と玉串川」の展示を計画。
春季企画展「聖徳太子と柏原」開催に伴い、聖徳太子墓の模型、河内六寺地形模型などの製作を予定。

(テ) 【日本遺産関連事業】

a. 龍田古道・亀の瀬

日本遺産「龍田古道・亀の瀬」推進協議会などと連携しながら、説明板の設置、シンポジウムの開催、ボランティアの養成などの事業を進めていく。柏原市にぎわい観光課と協力して、市民を対象とした亀の瀬見学ツアー（7/17）、子どもを対象とした亀の瀬体験ツアー（8/9、8/28）、図書館（柏原・国分）と3館でクイズ・スタンプラリー（7/21～9/1）を実施など。企画調整課の依頼で、大阪教育大学の学生を対象とした授業（5/26ほか）、見学ツアーなどを予定。

b. 葛城修験

令和3年末ごろに当館でパネル展示を予定。亀の瀬の竜王社に説明板、案内標識などの設置予定。

(ト) 【高井田文化教室（柏陽庵）】

クラブ登録をした団体には利用料金を半額としている。クラブ制度による定期的な利用者の増加を図るとともに、一般利用者の促進を図る。

(2) 横穴管理運営関係

(ア) 【史跡高井田横穴特別公開】

- a 春季 5月15日(土)の予定だったが新型コロナウイルス感染拡大のため中止。
- b 秋季 10月16日(土) 午前10時～午後3時
・市民歴史クラブが参加・協力予定。

(イ) 【横穴公園等案内】

地域の歴史と自然に親しめる公園として、団体の見学希望者に職員が鍵を開けて案内。

(ウ) 【維持管理】

- a 保存工事を実施した第3支群5号横穴の経過観察を定期的実施(毎月)。今年度も線刻壁画に対する日照や照明の影響について調べる予定。そのため、照明については人感センサーを切っており、特別公開日を除き、玄室内部を覗くために人が近づいても照明は点灯しない。
- b 横穴公園内景観の維持管理。平成30年度台風21号による被害への対応。

(エ) その他【柏原市文化財保護条例】

- a 柏原市文化財保護条例に基づく審議会の開催(2回)。
- b 柏原市文化財保護条例に基づく文化財の市指定。

柏原市立歴史資料館等運営協議会委員名簿

号	氏名	備考
1	塚口 義信	堺女子短期大学名誉学長・名誉教授【会長】 (学識経験者)
1	綿貫 友子	神戸大学教授【副会長】 (学識経験者)
1	櫻澤 誠	大阪教育大学准教授 (学識経験者)
2	橋本 早知子	柏原市校園長会代表 柏原市立柏原小学校校長
2	渡辺 宏治	関西福祉科学大学高等学校教頭 (市内公私立学校関係者)
4	中野 武	市民代表(公募)
4	山川 薫	市民代表(公募)

※数字は設置規則第 一 条 1 号、2 号、4 号委員を指す。

※名簿掲載順は、各号委員別にアイウエオ順とした。

※任期は令和 4 年 3 月 31 日まで